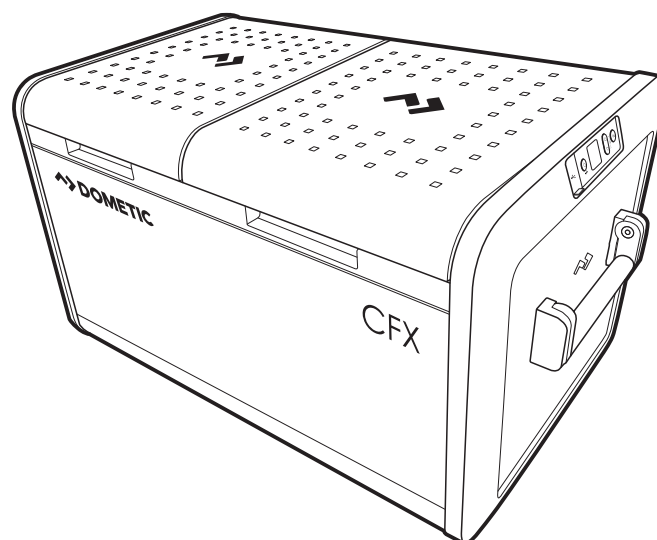


↗ DOMETIC MOBILE COOLING CFX3 75DZ



ポータブル 2way コンプレッサー 冷凍庫 / 冷蔵庫

CFX3 75DZ

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、お読みになった後は「保証書」とともにいつでも取り出せる所に、大切に保管してください。

※本機は民生用です。業務用途でのご使用はお控えください。

目次

1	本機の特長	3
2	安全上のご注意	4
3	同梱品の確認	7
4	各部の名称	8
5	本機を設置する	9
	据え付け場所	9
6	ご使用方法	10
6.1	AC100V または DC12V/24V で冷凍・冷蔵する	10
6.2	電源用 USB 差込み口を使う	12
7	お好みに合わせて設定を変更する	13
7.1	温度表示の単位の切り替え	13
7.2	バッテリーモニターモードの設定	13
7.3	デジタル表示パネルの明るさの設定	14
7.4	アプリ連携	14
7.5	Bluetooth の ON/OFF の切り替え、接続	14
7.6	Wi-Fi の ON/OFF の切り替え	15
8	飲食物等を保存する	16
9	お手入れ	17
9.1	お手入れのしかた	17
9.2	お手入れ後の点検	18
9.3	定期点検のおすすめ	18
10	霜とり	19
11	こんなときには	20
11.1	停電のとき	20
11.2	長時間お使いにならないとき	20
11.3	引っ越しや運搬をするとき	20
11.4	本機を廃棄処分するとき	20
12	故障かな？と思ったら	21
13	仕様	23
	電波について	23
	保証とアフターサービス	24
	製品保証書	裏表紙

1 本機の特長

CFX3 シリーズは頑丈なフェンダーフレームやステンレス製のヒンジ、アルミ合金ハンドルなどを採用し、タフな使用にも耐えられる強靭さを備えながらも、持ち運びを可能にするポータブルクーリングボックスです。ご家庭内はもちろん、お車での移動時やアウトドアアクティビティでもご使用いただけます。

- **2way 電源対応**

AC100V と DC12V/24V の 2way 電源に対応しています。ご家庭内やお車での移動時でもご使用いただけます。DC 電源の場合は、自動で DC12V/24V を検知し、切り替えます。

- **パワフル性能**



家庭用の冷凍冷蔵庫と同じコンプレッサー方式です。高い断熱性とパワフルなコンプレッサーで急速冷却を可能にします。セカンド冷凍庫、または冷蔵庫としてもご使用いただけます。

- **温度コントロール**

デジタル表示パネルにより、1℃単位でお好みの温度設定が可能です。
(設定可能温度範囲：+10℃～-22℃)

- **大、小ふたつのボックス**

以下のとおり、冷凍庫・冷蔵庫の組み合わせができます。

大 (45 リットル) 	小 (30 リットル) 
冷凍庫	冷蔵庫
冷蔵庫	冷凍庫
冷凍庫	冷凍庫
冷蔵庫	冷蔵庫

- **バッテリーモニター機能**

車内の DC 電源に接続している時に、車のバッテリーの過度な放電を防止するため、三段階でバッテリー電圧をモニタリングし、設定に応じて自動的に電源を切ります。

- **USB 差込み口を装備**

携帯電話や mp3 プレーヤーなどの小型機器の充電ができます。

- **Wi-Fi/Bluetooth 機能**

専用アプリを使用して、庫内温度の確認や各種機能の設定と変更ができます。



- **ノンフロンタイプ**

冷媒にフロンを使用していないので、環境にもやさしい製品です。




2 安全上のご注意【必ずお守りください】












- ・ ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・ 人への危害や財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



	警告： 誤った取扱いをしたときに人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容。
	注意： 誤った取扱いをしたときに人が軽傷を負う可能性、および財産の損害が発生することが想定される内容。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	△ 記号は、「危険、警告、注意」を表します。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。
	⊘ 記号は、してはいけない「禁止」を表します。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。
	● 記号は、必ずしていただく「強制」、「指示」を表します。図の中や近くに具体的な強制、指示内容（左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜くこと」）が描かれています。

 警告	
	修理技術者以外の人は、分解や改造、修理をしないでください。火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにご相談ください。
	部品が破損した状態のまま使用しないでください。感電や引火・爆発・けがをする恐れがあります。
	同梱の AC100V 電源コードは本機専用です。他の製品で使用しないでください。
	電源プラグは根元まで確実に差込んでください。火災や感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みプラグがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	AC100V で使用の場合、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。
	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差しをしないでください。感電やけがをする恐れがあります。
	電源コードやプラグが異常に熱い場合や電源コードに深い傷や変形がある場合、または焦げ臭いにおいがするときやビリビリと電気を感じるときは、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。発煙や発火、感電の恐れがありますので、すぐにお買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターに点検・修理を依頼してください。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートにより発火する恐れがあります。

⚠ 警告

 <p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>	 <p>引火性のガス、または液体入りの容器は、低温で漏れ出す可能性があり、爆発する危険性もあります。スプレー容器や消火器の詰替用カートリッジなど、引火物が入った容器は絶対に本機に入れないでください。</p>
 <p>可燃性スプレーを近くで使わないでください。引火する恐れがあります。</p>	 <p>本機の上に物を置かないでください。フタの開閉で物が落下し、けがをする恐れがあります。</p>
 <p>電源プラグを、本機で押し付けしないでください。傷がつき過熱発火する恐れがあります。</p>	 <p>本機には、医薬品や学術試料を入れないでください。本機では温度管理の厳しいものは保管できません。</p>
 <p>本機を廃棄するときは、必ずフタパッキングを外してください。幼児が閉じ込められる恐れがあります。</p>	 <p>電源プラグのほこりや汚れなどは定期的にとってください。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合も、よく拭きとってください。火災の原因になります。</p>
 <p>本機の上に水を入れた容器を置かないでください。こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電・火災の原因になります。</p>	 <p>地震にそなえて本機の転倒防止処置をしてください。本機が転倒し、けがをする恐れがあります。</p>
 <p>アースや漏電遮断器を確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。</p>	 <p>電源プラグはコードが下向きになるように差込んでください。逆に差込むとコードに無理が掛かり、ショート・加熱し、発火・感電の原因になります。</p>
 <p>本体に強い衝撃を与えないでください。本体を落としたり、車載時に凸凹道を走行して、強い衝撃を与えると故障する恐れがあります。</p>	 <p>ガス漏れがあったときには、本機やコンセントには手を触れず、窓を開けて良く換気をしてください。引火発火し、火災や火傷をする恐れがあります。</p>
 <p>AC、DC を同時に使用しないでください。過熱による故障、火災の恐れがあります。必ず 1 つだけでご使用ください。</p>	 <p>湿気の多い所や、水のかかる所への設置は絶対に避けてください。絶縁が悪くなり、漏電および故障の原因になります。</p>
 <p>AC、DC 使用時、指定された電圧以外で使用しないでください。AC は 100V、DC は 12V または 24V です。指定された電圧より高い電圧で使用すると、過熱によるヒーター線の断線や火災の恐れがあります。</p>	 <p>本機は防水仕様ではありません。本体に水をかけたり、水たまりに置いたりしないでください。雨水や海水、夜霧の当たる場所、水気や塩気の多い場所で使用すると、サビや故障の原因になるだけでなく、漏電による感電や火災の恐れがあります。</p>
 <p>本機を廃棄するときは、家電リサイクル法を遵守し、正しく処分してください。</p>	<p>また、風が直接入るようなガレージや納屋などに常設しないでください。ほこりにより、ショートや漏電、火災の原因となります。</p>
 <p>庫内に直接水や氷、海水などを入れないでください。水が漏れ故障の原因になり、漏電による感電や火災の恐れがあります。</p>	 <p>酒気を帯びて車を運転しないでください。飲酒運転は法律で禁止されています。</p>
 <p>濡れた手で本機の操作はしないでください。感電をする恐れがあります。</p>	 <p>冷凍時の庫内や食品、容器（特に金属製）を濡れた手で触れないでください。凍傷になる恐れがあります。</p>

⚠ 警告



DC プラグはシガーソケットに直接確実に差込んでください。また、DC プラグやシガーソケット内部のほこりや汚れ、DC プラグの差込みがゆるいと接触熱により DC プラグが溶けるだけでなく、シガーソケットの変形や火災になる恐れがあります。市販の 2 連や 3 連などのシガーソケットを使用して、他の器具との併用はお止めください。過電流による発熱や接触抵抗の増大により、シガーソケットや DC プラグの溶けや発火の恐れがあります。

お子さまの安全について



- 小さいお子さまは、家庭電化製品に対する危険性を十分に認識していません。お子さまが電化製品で遊ぶことがないように十分にご注意ください。
- 梱包材（包装紙やビニール袋など）はお子さまにとって窒息の原因になるなど、危険な場合があります。梱包材をお子さまの近くに置かないでください。
- 廃棄処分する前に使用不可の状態にしてください。お子さまが本機の中に閉じこめられ、窒息事故を起こしたり、それ以外の危険な状況に陥ったりすることを防ぎます。

⚠ 注意



車内でご使用の際は、必ずベルトなどでしっかりと固定してください。急発進や急停車時に本体が転倒し、けがの恐れがあり大変危険です。また、走行中にフタが開いて飲食物等が飛び出さないようにフタも固定してください。



エンジンを切り長時間車を止める際は、飲食物等は放置せず持ち出してください。車内の高熱により飲食物等の品質が劣化する恐れがあります。



車のエンジンを停止してでのご使用はお控えください。バッテリーが消耗してエンジンがかからなくなる恐れがあります。



DC コードを延長して使用しないでください。抵抗値の上昇による性能低下だけでなく、DC プラグが溶けるなどの接触不良によるトラブルの原因になります。



本体側面の放熱部付近に物をかぶせないでください。排気熱により、樹脂が変形したり、かぶさっている物が熱で変形したり、こげたりして危険です。



使用直後の DC プラグの金属部に触れないでください。使用中のプラグ先端は熱くなっており、触れると火傷をする恐れがあります。



火気の近くでは絶対に使用しないでください。本体の樹脂が熱で変形したり、こげたりして危険です。



フタを開けているときに、フタの下に手を置かないでください。風などで急にフタが閉まったとき、手や指をはさみ、けがをする恐れがあります。



ガラス容器に入れた飲食物や液体が過度に冷却されることがないようにご注意ください。液体は凍ると膨張するため、ガラス容器が破損する恐れがあります。



飲食物は適切に包装された状態で庫内に入れてください。



庫内の冷却部（内壁）に飲食物が触れると、凍る恐れがあります。飲食物を冷蔵保存するときは、冷却部に触れないように注意してください。

このような場所では使用できません



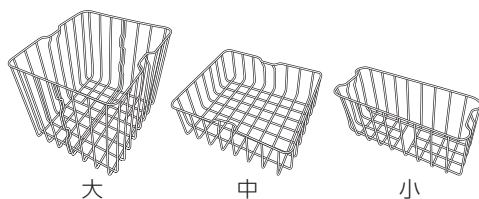
- 砂やほこりが本機内部に入ると、動作不良や故障の原因となりますので、砂やほこりの多い場所でのご使用はお控えください。
- 雨水や海水がかかる場所、湿気や塩気の高い場所ではサビや腐食の発生、漏電の恐れがあり大変危険です。船舶や海辺でのご使用はおやめください。
- 車のトランクや家具の中など、密閉された狭い場所では、放熱が悪くなり、本来の冷却性能を発揮しませんのでご使用できません。
- 直射日光の下では、熱が本体に吸収され、庫内温度が上がりますのでご使用できません。

※本機の故障や経年劣化により生じた損害について、弊社では一切の責任を負いかねますので、定期的に作動状況をご確認ください。

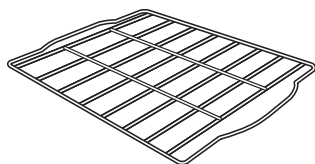
3 同梱品の確認

まずは不足物がないか確認をしてください。万一、下記のものが同梱、または付属されていなかった場合は、お買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにお問い合わせください。

- 冷凍・冷蔵庫本体
- ワイヤーバスケット
(大×1、中×1、小×1)



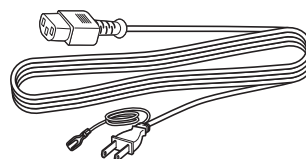
- 仕切り板 (大ボックス用×1)



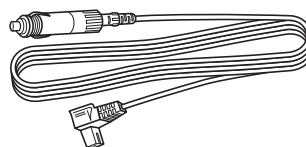
- 栓×2



- AC100V 電源コード



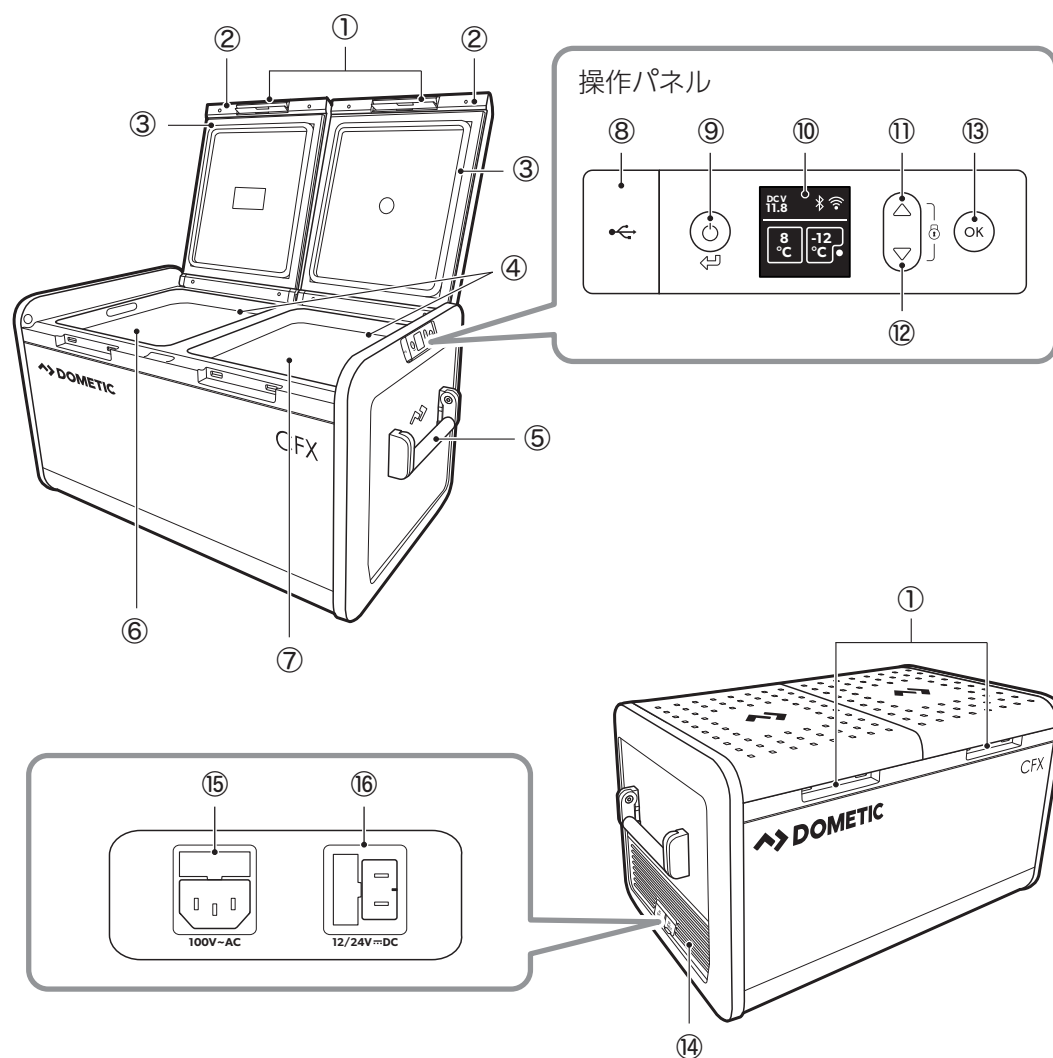
- DC12V/24V 電源コード



- 取扱説明書 (本書)
- 保証書 (本書の裏表紙)

※同梱の AC100V 電源コードは本機専用です。他の製品で使用しないでください。
※ワイヤーバスケットや仕切り板、栓は購入時にセットされています。
※形状につきましては、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

4 各部の名称



- ① 開閉レバー
- ② フタ
- ③ フタパッキング
- ④ 冷却部（内壁）
- ⑤ ハンドル
- ⑥ 小ボックス
- ⑦ 大ボックス
- ⑧ 電源用 USB 差込み口
- ⑨ 電源ボタン / 戻るボタン
- ⑩ デジタル表示パネル

- ⑪ △ボタン
- ⑫ ▽ボタン
- ⑬ OK ボタン
- ⑭ 放熱部（吸・排気口）
- ⑮ AC100V 電源差込み口
- ⑯ DC12V/24V 電源差込み口

5 本機を設置する

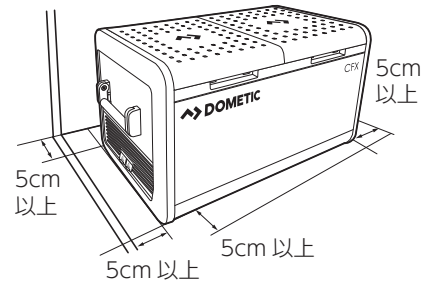
据え付け場所

- ・本機は、必ず丈夫で水平な場所に設置してください。
- ・据え付けるときに、本機を引きずらないでください。床面を傷つけることがあります。



放熱のための空気の流れを必ず十分に確保してください。本機は庫内を冷やすため、冷却装置から熱を放出しています。

- ・本機のすべての面の空気の流れが確保されていることを、定期的に確認してください。
- ・放熱が不十分で周辺に熱がこもると、冷却能力が低下することがあります。
- ・ラジオやテレビから離して置いてください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- ・収納時の重量に耐えられる強度の床に設置してください。
- ・熱源から離して設置してください。



室内では必ず、丈夫で水平な場所に設置してください。



車に設置する際は、本機を水平にして、運転中に本機が動かないようベルトなどでしっかりと固定してください。また、本機を固定する際は、熱を発する本体放熱部が車の内装や他の積荷などに触れないようご注意ください。

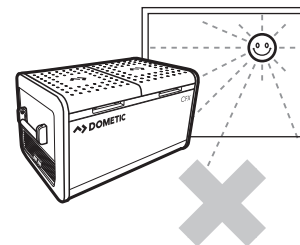


庫内の飲食物等が破損する恐れがありますので、運転には十分ご注意ください。



室温の高い場所、直射日光の当たる場所等には設置しないでください。

- ・室温の高い場所では十分に放熱ができないため、冷却力が低下します。周囲温度が 16℃～32℃の環境でご使用ください。
- ・直射日光のあたる場所や窓ガラス近くの設置は、設定温度まで下がらないだけでなく、飲食物等にも損傷を与えます。
- ・湿気の多い所や水のかかる所の設置は避けてください。火災や感電の原因になります。



エンジンを切り長時間車を止める際は、飲食物は放置せず持ち出してください。車内の高熱により飲食物の品質が劣化する恐れがあります。



注意

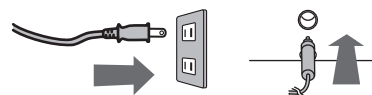
- ※周囲環境温度が 32℃を超えると冷却力が低下し、十分な冷却が得られない場合があります。その際、庫内温度上昇により、飲食物等の品質劣化の原因になりますので、十分ご注意ください。
- ※本機は側面に放熱のための吸・排気口があるため、家具等に組み込んでご使用になる際は、必ず空気の流れを確保してください。
- ※床の強度が弱い場所や畳などの安定しない場所には設置しないでください。据え付け不良は、冷えないまたは故障等の原因になります。
- ※本機の上に物を置かないでください。物が落下してけがをしたり、水がこぼれて漏電や火災の原因になります。

6 ご使用方法

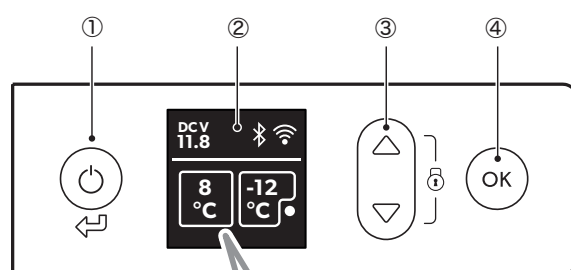
6.1 AC100V または DC12V/24V で冷凍・冷蔵する

- ※初めてお使いになるときは、庫内を湿らせた柔らかい布で拭き掃除をした後、乾いた布で仕上げてください。
- ※電源プラグは、必ず水平に差込んで、確実に取り付けてください。
- ※本機のご使用を開始する前に、電源コードやコンセント、シガーソケットが濡れていないことをご確認ください。
- ※AC100V 電源コード及び DC12V/24V 電源コードを同時に使用しないでください。（どちらか一方だけで使用してください。）
- ※AC100V 電源コードまたは DC12V/24V 電源コードをご使用にならないときは、大切に保管してください。
- ※DC プラグがシガーソケットのサイズや規格にあわない場合は、ご使用にならないでください。
- ※電源コードは間違った極性や向きでは差込むことができません。差込む際には、方向をご確認ください。
- ※DC プラグの差込みがゆるいと走行中の振動や衝撃により接触不良を起こし、通電しない恐れがあります。また、接触熱により DC プラグが溶けるだけでなく、シガーソケットの変形や火災になる恐れがあります。DC プラグは確実に取り付けてください。

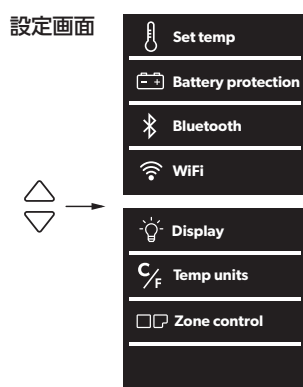
1. AC100V 電源コードまたは DC12V/24V 電源コードを、本体側面の差込み口にしっかりと差込んでください。
2. AC100V 電源プラグを AC100V コンセントに差込んでください。または、DC12V/24V 電源プラグを車体のシガーソケットに単独で確実に差込んでください。



操作パネルの見方



設定画面



① 電源ボタン / 戻るボタン

電源の ON/OFF を行います。
設定画面が表示されているときに押すと、内容を保存せずに前の画面に戻ります。

デジタル表示パネル

現在の温度や状態、設定の数値などを表示します。

- ・ AC : AC 電源が接続されています
- ・ DCV : DC 電源が接続されています
- ・ : スリープモードが有効化されています
- ・ : Bluetooth が有効化されています*1
- ・ : Wi-Fi が有効化されています*1
- ・ : チャイルドロックがかかっています
- ・ : コンプレッサが動作中です

△ボタン / ▽ボタン












1 回押すごとに設定の数値を 1 つ変更します。
または、設定項目を切り替えます。
最初の画面で△ボタンと▽ボタンを同時に 3 秒以上長押しすると、チャイルドロックがかかります。または、チャイルドロックを解除します。

② OK ボタン

設定画面を表示したり、設定項目を決定します。
または、選択した値を保存します。








※ 1 Bluetooth または Wi-Fi を ON にすると、それぞれのアイコンが薄く点灯します。この状態で専用アプリと接続すると、それぞれのアイコンが明るく点灯します。

電源 ON/ 温度設定


1. 電源ボタン  を押してください。
電源が入ると、デジタル表示パネルに現在の庫内の温度が表示されます。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Set temp」を選び、OK ボタン  を押してください。
 - ・△ボタン  を 1 回押すと、大ボックスの枠が青色で囲われ、大ボックスの温度が設定できます。
 - ・▽ボタン  を 1 回押すと、小ボックスの枠が青色で囲われ、小ボックスの温度が設定できます。
3. OK ボタン  を押して、庫内温度を設定するボックスを決定してください。決定すると、デジタル表示パネルのボックスの表示が青色に変わります。
 - ・温度を下げたいときは、庫内温度が表示されているときに、▽ボタン  を押してください。
1 回押すごとに 1 度ずつ下がります。
 - ・温度を上げたいときは、庫内温度が表示されているときに、△ボタン  を押してください。
1 回押すごとに 1 度ずつ上がります。
4. OK ボタン  を押して、設定温度を決定してください。
設定した温度がデジタル表示パネル上で数回点滅し、設定画面が表示され、庫内温度の設定が完了します。
 - ・設定完了後、元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。
 - ・庫内の温度が安定してから、飲食物等を保存してください。

使用するボックスの選択

表示パネルに温度が表示されているボックスは、作動しています。
次の手順で使用するボックスを選択することができます。

1. △ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Zone control」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、使用するボックスを選択してください。
 - ・「Both On」 両方のボックスを使用する場合に選択します。
 - ・「Large On」 大ボックスのみ使用する場合に選択します。
 - ・「Small On」 小ボックスのみ使用する場合に選択します。
3. OK ボタン  を押して、使用するボックスを決定してください。
 - ・決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。

電源 OFF

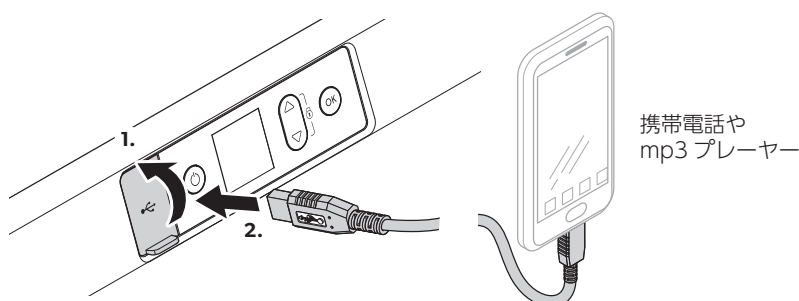
1. 電源ボタン  を 3 秒以上長押ししてください。
冷却動作が停止し、電源が切れます。
2. 電源を切ったあとは、AC100V 電源コードまたは DC12V/24V 電源コードを必ず抜いてください。

**注意**

- 周囲環境温度が 32℃を超えると冷却力が低下し、十分な冷却が得られない場合があります。その際、庫内温度上昇により、飲食物等の品質劣化の原因になりますので、十分ご注意ください。また、定期的に周囲環境温度の確認をしてください。
- 予め庫内をよく冷やしてから飲食物等を入れてください。
- 開閉レバーの上部を上から「カチッ」と音が鳴るまで強く押し、フタをしっかり閉めてください。フタが半開きになると、庫内が冷えなくなるだけでなく、霜が付く原因にもなります。
- 停電後は再度温度設定を行なってください。
- 本機を運搬後すぐに電源を入れないでください。冷却システムを破損する恐れがありますので、運搬後は 30 分ほど経ってから電源を入れてください。
- 本機は、+10℃～- 22℃の間で温度設定が可能です。周囲環境温度や使用環境により、設定温度に達しない場合があります。そのため、定期的に周囲環境温度や庫内温度、設定温度の確認をしてください。
- メーカーや車種によりシガーソケットのサイズに違いがあり、DC プラグが合わない場合があります。付属の DC プラグがシガーソケットのサイズや規格に合わない場合は、ご使用にならないでください。
- 車のエンジンを停止してご使用になると、バッテリーが消耗してエンジンがかからなくなる恐れがあります。車のエンジンを停止してでのご使用はお控えください。
- DC プラグ先端の金属部分は 70℃～ 80℃まで温度が高くなっています。触ると火傷をする恐れがあります。
- 使用環境により、本機の底面に結露が発生する場合があります。ご家庭や車で長時間据え置きでご使用になる場合は、本機の下に防水シートを敷いてご使用ください。

6.2 電源用 USB 差込み口を使う

電源用 USB 差込み口で、携帯電話や mp3 プレーヤーなどの小型機器を充電することができます。市販の USB ケーブルを小型機器に接続して使用してください。








**注意**

USB 差込み口に接続された小型機器が 5V/2A 電源に対応していることを確認してから使用してください。

7 お好みに合わせて設定を変更する

7.1 温度表示の単位の切り替え

温度表示を「Celsius」(摂氏) または「Fahrenheit」(華氏) に切り替えることができます。

1. △ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Temp units」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、「Celsius」(摂氏) または「Fahrenheit」(華氏) を選択してください。
3. OK ボタン  を押して、温度表示の単位を決定してください。
 - ・決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。

7.2 バッテリーモニターモードの設定

車内で DC 電源に接続されている場合に、車のバッテリーの過度な放電を防止するため、搭載バッテリーの残量をモニタリングする機能がついています。






車両のイグニッションが OFF の状態で本機を作動させている時に、搭載バッテリーの電圧が以下の設定レベルを下回ると、自動的に本機の電源が切れます。搭載バッテリーが再始動できる電圧レベルまで充電されると、本機の電源は再び入ります。


※搭載バッテリーの電圧が不安定な場合、以下の設定レベルの数値でバッテリーモニターモードが作動しない恐れがあります。車のエンジンを停止してでのご使用はお控えください。



注意



バッテリーモニターによって電源が切れると、バッテリーは完全には充電されなくなります。また、充電せずに繰り返し電源を ON にしたり、作動させたりしないでください。バッテリーが再充電されていることを確認した後、本機を作動させてください。

1. △ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Battery protection」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、バッテリーのモードを選択してください。
 - ・次のレベルが表示されます。

High  Medium  Low  High

- ・「High」は、「Low」と「Medium」のレベルよりも速く反応します。

バッテリーモニターモード	High	Medium	Low
12V での電源が切れる電圧	11.8V	11.2V	10.1V
12V での再始動する電圧	12.6V	12.2V	11.4V
24V での電源が切れる電圧	24.6V	24.1V	21.5V
24V での再始動する電圧	26.2V	25.3V	23.0V

3. OK ボタン  を押して、バッテリーのモードを決定してください。
 - ・決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。










指示

本機が搭載バッテリーから電力を供給されているときは「High」または「Medium」に設定してください。補助バッテリーから電力を供給されている場合は「Low」に設定してください。

7.3 デジタル表示パネルの明るさの設定

デジタル表示パネルの明るさは、周囲の明るさに合わせて調整することができます。

1. △ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Display」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、デジタル表示パネルの明るさを選択してください。
3. OK ボタン  を押して、デジタル表示パネルの明るさを決定してください。
 - ・ 決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。

7.4 アプリ連携

互換性のある機器に専用アプリをインストールして、Bluetooth や Wi-Fi 経由で本機を操作することができます。

アプリでは電源の ON/OFF や庫内温度の確認や設定、バッテリーモニターモードの設定、アラームの設定、温度表示の単位の切り替え、履歴の確認などができます。



専用アプリ「CFX3」








Android 版は Google Play から、iOS 版は App Store で「dometic CFX3」と検索してください。(通信費・接続料はお客様のご負担となります。)

7.5 Bluetooth の ON/OFF の切り替え、接続







Bluetooth を接続すると、専用アプリから本機を操作することができます。

本機の Bluetooth 名は「CFX」で始まります。

ON/OFF の切り替え

1. 本機の△ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Bluetooth」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、「ON」または「OFF」を選択してください。
3. OK ボタン  を押して、Bluetooth の ON/OFF を決定してください。
 - ・ 決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。








Bluetooth の接続 (ペアリング)

1. 専用アプリを起動して、Bluetooth 接続ができる状態に準備してください。
2. 本機の△ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「Bluetooth」を選び、OK ボタン  を押してください。
3. △ボタン  または▽ボタン  を押して、「PAIR」を選択してください。
4. OK ボタン  を押してください、デジタル表示パネル上の Bluetooth アイコンが点滅し、本機と専用アプリが接続されます。








7.6 Wi-Fi の ON/OFF の切り替え

Wi-Fi を接続すると、専用アプリから本機を操作することができます。
本機の Wi-Fi 名は「CFX」で始まります。パスワードは「00000000」です。
Wi-Fi 名とパスワードは、専用アプリの「SETTINGS」を選択して、「CFX name and password」から変更することができます。

Wi-Fi の ON

1. 専用アプリを起動してください。
2. 本機の△ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「WiFi」を選び、OK ボタン  を押してください。
3. △ボタン  または▽ボタン  を押して、「ON」を選択してください。
4. OK ボタン  を押して、Wi-Fi の ON を決定してください。
 - ・ 決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。

Wi-Fi の OFF

1. 本機の△ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「WiFi」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、「OFF」を選択してください。
3. OK ボタン  を押して、Wi-Fi の OFF を決定してください。
 - ・ 決定後、設定画面に切り替わります。元の画面に戻るには、戻るボタン  を押します。











注意

- ・ 本機の Wi-Fi の工場出荷時の設定は「OFF」です。初めての使用および本機の電源が遮断されたときは、Wi-Fi の設定を「ON」にしてからアプリを使用してください。
- ・ Wi-Fi の設定を「ON」にすると、少量の電力を使用します。Wi-Fi を使用していない場合は、設定を「OFF」に切り替えてください。

パスワードのリセット

Wi-Fi のパスワードを工場出荷時の設定「00000000」にリセットできます。

1. 本機の△ボタン  または▽ボタン  を押して、設定画面から「WiFi」を選び、OK ボタン  を押してください。
2. △ボタン  または▽ボタン  を押して、「RESET」を選択し、OK ボタン  を押してください。
3. ▽ボタン  を押して「Yes」を選択し、OK ボタン  を押してください。
パスワードがリセットされます。

8 飲食物等を保存する

- **庫内は適当なすき間をあけてください。**
詰め込みすぎると、冷気の流れが悪くなり、庫内温度にムラができます。
- **あらかじめよく冷やしてから入れてください。**
庫内温度と飲食物等の温度差が大きいと、冷却に時間がかかります。
- **食品を保存する場合は、未開封もしくは密閉容器に入れたものにしてください。**
飲食物等のおい移りや湿気、乾燥を防ぎます。
ボトル類はしっかり密封してください。
- **カビや汚れを取り除いたものを入れてください。**
においが庫内に充満したり、カビが繁殖したりすることを防ぐことができます。
- **庫内に直接、氷や水（液体）を入れないでください。**
故障の原因になります。
- **電源が入っていない状態で、庫内に飲食物等を入れたままにしないでください。**
飲食物等が腐敗して庫内が汚れます。
- **ガラス容器に入れた飲食物等は過度に冷却され凍ると、ガラス容器が破損する恐れがあります。凍らない様に温度設定をしてください。**
- **次のものは庫内に入れないでください。**
 - 医薬品や学術試料
 - 温度管理がむずかしい生鮮食品

9 お手入れ

9.1 お手入れのしかた

いつも清潔にお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。

- 本機（庫内、庫外）に直接水をかけて洗わないでください。
- 柔らかい布で乾ぶきや水ぶきをしてください。
 - 水ぶきをする場合は、柔らかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってから汚れを拭きとってください。
 - ぬるま湯で落ちない場合は、台所用中性洗剤の注意書きに従い、必ずうすめて汚れを拭きとってください。その後、ぬるま湯を含ませた布で洗剤をふきとり、乾いた布で仕上げてください。



次のものは絶対に使用しないでください。（塗装面や部品を傷めます）
みがき粉、粉せっけん、アルコール、ベンジン、シンナー。化学ぞうきんの場合はその注意書に従ってください。

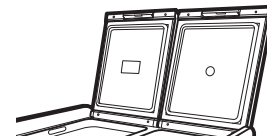


警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。感電やけがの原因になります。手が濡れているときは、手をよく拭いてから電源プラグを抜き差ししてください。
- 分解や改造、修理をしないでください。
火災や感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにご連絡ください。
- 傷んだ電源コードや差込みプラグ、差込みがゆるいコンセントやシガーソケットは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- 本体や庫内に水をかけないでください。
電気絶縁が低下し、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグのほこりや汚れは定期的にとってください。
絶縁不良になり、火災の原因になります。

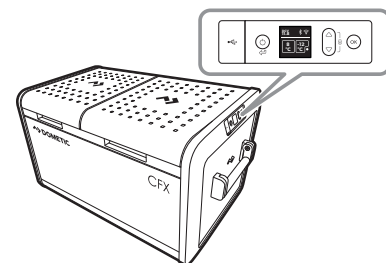
1 水ぶきをする所

- フタパッキング
 - ※フタパッキングは汚れると傷みやすく、冷気漏れの原因になります。特に下の方は汚れやすいため、定期的にお手入れが必要です。
- 庫内



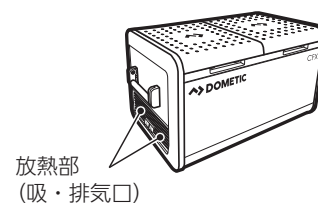
2 乾ぶきをする所

- 操作パネル
 - ※柔らかい布を使用してください。
- フタ
- 本体



3 ほこりを取る所 月1回必ず掃除をしてください。

- ・本機の側面：放熱部（吸・排気口）
- ※吸・排気口についたほこりとゴミは定期的に掃除機で吸いとり、汚れは布で拭きとってください。吸・排気口にほこりがたまると故障の原因になります。



9.2 お手入れ後の点検



感電や火災などを防ぐため、次の点検を必ず行なってください。

- ・電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
- ・電源プラグがコンセントにしっかり差込まれていますか？
- ・電源プラグに異常な発熱などありませんか？
- ・電源プラグをコンセントに差込んでから半日後に一度設定温度を確認してください。

ご不明な点がございましたらお買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにご相談ください。

9.3 定期点検のおすすめ

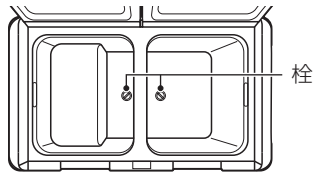
- ・長期間ご使用されていると、使用部品の経年劣化などによって正常な動作が困難となり、任意で設定していただいた庫内温度から外れ、飲食物等の保存に支障をきたす場合があります。なお、使用部品の経年劣化等は、設置環境などの外的要因が影響し短期間で発生する場合があります。本説明書の「安全上のご注意」をよく読み、十分にご注意ください。

愛情点検		長年ご使用の冷蔵庫の点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">・電源コードやプラグが異常に熱い。・電源コードに深いキズや変形がある。・焦げくさいにおいがする。・冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。・ビリビリと電気を感じる。・その他の異常や故障がある。	
		ご使用中	事故防止のため、電源プラグを抜いて必ず販売店に点検をご依頼ください。

10 霜とり

庫内の表面に多量の霜がつくと冷却能力が低下します。霜が 5mm 程度ついたら霜とりを行なってください。

1. 庫内の飲食物等を取り出して、他の冷蔵庫の冷凍室などに移してください。
2. 電源ボタン ㊟ を 3 秒以上長押しして、電源を切ってください。
3. 電源プラグを抜き、開けてください。
4. 庫内底面の栓がしっかりと取り付けであることを確認してください。



5. 霜が自然に溶けて霜とりが終わったら、庫内に付着した水滴を布で拭き取ってください。
6. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源を入れてください。
7. 庫内が十分に冷えてから、他に移した飲食物等を入れてください。

- ・ 自然式霜とりのため（特に冬期など）周囲環境温度により霜とりの時間が長くなる場合があります。



注意

- ・ 溶けた水が庫外にこぼれてしまった場合は、柔らかい布で拭きとってください。
- ・ ナイフや先のとがったもの、金属製の道具を使っての霜や氷のはぎ取りは行わないでください。冷却器を損傷し、故障の原因になります。また、この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- ・ ドライヤーなどの電化製品や、火気その他を利用する機器や器具を使って霜を溶かすことは絶対にしないでください。万一冷媒が漏れ出している場合に、発火や爆発をする恐れがあります。
- ・ 霜とりスプレー等は使用しないでください。
- ・ ワイヤーバスケットは霜がつくと取り外しにくくなる場合があります。無理に取り外すと庫内の内壁が破損し、故障の原因になります。
- ・ 庫内の壁や冷却回路を傷つけてしまった場合、霜とり終了後の使用はおやめください。点検・修理が必要となる可能性がありますので、販売店またはドメティックサービスセンターにご相談ください。

11 こんなときには

11.1 停電のとき

フタの開閉をできるかぎり少なくし、新たな飲食物等の保存はさけてください。
(庫内温度上昇の防止)

停電後の設定温度は停電前に設定した温度となっていますが、まれに初期設定に戻ってしまふことがあります。停電後は必ず設定温度の確認をしてください。

11.2 長時間お使いにならないとき

必ず電源プラグを抜いてから庫内を清掃し、庫内の水滴を布で拭きとってからフタを開けてよく乾燥させてください。

その後、湿気のない所に保管してください。(カビやにおいを防ぐため)

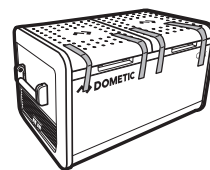


指示

必ず電源プラグを抜いてください。絶縁劣化などにより、感電や漏電、火災の原因になることがあります。

11.3 引っ越しや運搬をするとき

1. 電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。
2. 庫内から飲食物等を取り出し、庫内の水滴を布で拭きとってから運搬してください。
3. 運搬するときは、フタが開かないようにテープでしっかり固定し、運搬してください。



- フタを上面にして運搬してください。(本機を逆さまなどにして運搬すると、故障の原因となります。)
- 50/60Hz 共用です。周波数の切り替えは必要ありません。



11.4 本機を廃棄処分するとき

- この製品は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの本機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象製品を最寄りの指定引取場所、または販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

12 故障かな？と思ったら

本機は周囲環境温度や使用環境により、庫内が設定温度に到達するまで時間を要したり、設定温度に達しない場合があります。

修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、直らないときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにご連絡ください。

症状	原因	解決方法
全く冷えない	電源プラグが抜けている	AC100V または DC12V/24V の電源プラグを差込んでください。
	お部屋のヒューズやブレーカーが切れている	他の電化製品が作動するかどうかをご確認のうえ、適切な処置をしてください。
	停電している	解消されるまでお待ちください。
	車両のシガーソケットに電圧がかかっていない	車両のシガーソケットに電圧がかかるように、イグニッションスイッチを ON にしてください。
	DC プラグやシガーソケットが汚れているため、接触不良を起こしている	DC プラグやシガーソケット内部の汚れを柔らかい布で拭きとってください。また、DC プラグが熱くなっている場合は、シガーソケットが汚れているか、または正しく DC プラグが差込まれていないことがあります。
	DC 電源コードのヒューズが焼損している	ドメティックサービスセンターにご連絡ください。
	車両のヒューズが焼損している	車両ディーラーに連絡してください。
よく冷えない	直射日光があたっている、または近くに発熱器具がある	風通しがよく、涼しくて湿気の少ない場所に設置してください。32℃以下の周囲環境温度で使用してください。
	飲食物等を入れすぎている、周囲環境温度が 33℃ 以上になっている、またはフタを頻繁に開け閉めしている	飲食物等を詰め込みすぎないでください。フタの開閉は必要最低限にしてください。
	本機周囲の放熱空間が不足している	放熱部付近の通気を良くし、本機の周囲に適切な放熱空間を確保してください。
	庫内温度設定が適切でない	適正温度に設定してください。
	周囲環境温度が 33℃ 以上になっている	本機は 16℃～32℃の周囲環境温度で使用してください。
	本機のフタが半開きになっている	開閉レバーの上部を上から「カチッ」と音が鳴るまで強く押し、フタをしっかりと閉めてください。
	本機側面の放熱部にほこりやゴミがたまっている	ほこりやゴミを掃除機で吸いとり、汚れを布で拭きとってください。
	霜が多量についている	霜とりを行なってください。
デジタル表示パネルの操作ができない	ディスプレイがロックされている	△ボタン  と▽ボタン  を同時に 3 秒以上長押しすると、デジタル表示パネルのロックが解除されます。
音がうるさい※	周囲の温度変化が大きい	冷媒が移動する際には多少の音が出ます。また、温度変化による本体内部壁の収縮で大きな音がするときもありますが故障ではありません。
	本機が振動している	水平になるように設置してください。

症状	原因	解決方法
庫内外に露がつく	本機のフタが半開きになっている	開閉レバーの上部を上から「カチッ」と音が鳴るまで強く押し、フタをしっかりと閉めてください。
	本機が水平に設置されていない	水平になるように設置してください。
	本機のフタに露がついている	乾いた布で拭きとってください。
アプリ連携ができない	Bluetooth や Wi-Fi が接続されていない	「7.5 Bluetooth の ON/OFF の切り替え、接続」(14 ページ)、 「7.6 Wi-Fi の ON/OFF の切り替え」(15 ページ) を参照して、確認をしてください。
エラーメッセージ (!WARNING 01) など) が表示される	何かしらの不具合が起き、電源が切れている	電源プラグを抜き、ドメスティックサービスセンターに修理を依頼してください。
アラートメッセージ !ALERT-Lidopen>3min が表示される	フタが 3 分以上開いている	フタを完全に閉めてください。 フタを完全に閉めても表示が消えない場合は、ドメスティックサービスセンターにご連絡ください。
アラートメッセージ !ALERT-Voltage low が表示される	供給されている電圧が十分でない	電圧降下の原因を確認してください。
	バッテリーの電圧が低すぎる	バッテリーを確認し、必要に応じて充電をしてください。
	バッテリーモニターモードの設定が高い	必要に応じて、バッテリーモニターモードの設定を変更してください。

※本機はコンプレッサーによって冷却されています。コンプレッサーが冷媒を冷却装置に送り出す際に音が発生します。コンプレッサーが作動していなくても温度や圧力の変化により音は発生します。

以下のような音が発生することがありますが、異常音ではありません。

- コンプレッサー：コンプレッサーが作動している時に「ブーン」という音、または振動するような音。
- 冷却器／キャピラリ：冷却器の中を通る冷媒（液体）が沸騰するような音。
- 凝縮器：凝縮器を通る空気の音。
- 各サイクルの終わりに、液体がパイプの中を通るときに出る、泡立つような音。
- 内壁が収縮、および膨張する時の「カチッ」という音や「パチッ」という音。
- ・ 周囲環境温度が高く、湿度が高い設置状況（特に夏場）の場合に庫外（フタ部）に結露することがあります。その際は、乾いた布で拭きとってください。また、周囲環境温度と本機内の温度差を少なくすることで結露は軽減されます。
- ・ 庫内が冷えない場合の緊急対応として、本機から飲食物等を取り出し、他の冷凍 / 冷蔵庫に移すなどして一時保存対応をしてください。

13 仕様

品名	ポータブル 2way コンプレッサー 冷凍庫 / 冷蔵庫	
型番	CFX3 75DZ	
冷却方式	コンプレッサー方式 (冷凍・冷蔵)	
定格内容積	45 リットル (大ボックス)	
	30 リットル (小ボックス)	
外形寸法	幅	892 mm
	奥行	495 mm
	高さ	472 mm
定格電圧	AC100V (50 Hz/60 Hz)	
	DC12V/24V	
定格消費電力	59 W	
設定可能温度範囲	プラス 10℃～マイナス 22℃	
気候クラス	T	
質量	27.8 kg	
USB	5 V $\overline{\text{---}}$, 2 A	
周波数帯域 (Wi-Fi)	2.4 GHz	
高周波電力 (Wi-Fi)	16.62 dBm (802.11b)/16.23 dBm (802.11g)/ 16.45 dBm (802.11n20)/16.02 dBm (802.11n40)	
高周波電力 (Bluetooth)	8.31 dBm	
高周波電力 (Bluetooth LE)	6.67 dBm	
原産国	中国	

※ 周囲温度が 16℃～32℃の環境でご使用ください。

※ 周囲環境温度や使用環境により、設定温度に達しない場合があります。

※ 庫内をマイナス 18℃以下に冷却したい場合、周囲温度が 32℃以下の環境でご使用ください。

※ マイナス温度に設定した場合、コンプレッサー保護のため、約 6 時間ごとにコンプレッサーが動きを抑えることがあります。この時、一時的に冷却が弱くなりますが、故障ではありません。

- ・ 本機の仕様は改良などにより、予告なく変更することがございます。
- ・ 本機は日本国内用です。海外では使用できません。
- ・ 消耗部品はお買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにご注文ください。

電波について

- ・ 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・ 日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。分解 / 改造すると、法律で罰せられることがあります。
- ・ 本機の使用周波数帯 (2.4 GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止 (電波の発信を停止) してください。



® 221-161007

保証とアフターサービス

ご使用方法やお手入れ、修理のご相談は、お買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターへお問い合わせください。

ドメティックサービスセンター TEL. 048-790-0025 FAX. 048-757-0715

製品保証書

製品保証書の内容、および「お買い上げ日」「販売店名」をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日から 1 年間です。ただし、冷媒循環回路は 3 年間です。

- 保証期間内でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。消耗部品や付属品は保証対象外です。
- 保証書に必要事項が記載されていないものは、有料になる場合があります。

● 修理を依頼されるときは

21 ページの「故障かな?と思ったら」の表にしたがってご確認ください。それでも直らないときは、ただちにご使用を中止して、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターへご連絡ください。

なお、飲食物等の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

● 修理料金のしくみ

修理料金は、修理費や部品代などで構成されています。

- 修理費：**不具合診断や故障箇所の修理、および部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代：**修理に使用した部品の費用です。

※本機は配送、または持ち込み修理となります。

● 保証期間中の修理

保証書の規定にしたがって修理いたします。

● 保証期間が経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理いたします。

● 補修部品の最低保有年数

- 本機補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 9 年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡いただきたい内容

- 型番 (Model)
- お買い上げ年月日
- 故障の状況 (できるだけ詳しく)
- ご購入店
- シリアルナンバー
- お名前・ご住所・お電話番号

※型番、シリアルナンバーは大ボックスフタ裏面のシールに記入されています。

個人情報の取扱について

お客様にご記入いただいた記載事項は、保証期間内の修理サービス活動、およびその後の点検活動、商品開発、またはお客様へのサービス向上を目的としたアンケート調査、当社サービスに対するお客様からのご質問やご意見のために利用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

お客様より収集する個人情報は、前項に記した目的の遂行のため、必要な範囲において、関係諸法令、主務大臣のガイドラインを遵守し、適切に管理致します。法令により例外として扱われる場合を除き、ご本人の同意を得ることなく第三者への開示、または提供を行うことはありません。



ドメティック株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 2-13-9
前川芝浦ビル 2
ドメティック サービスセンター
TEL. 048-790-0025 FAX. 048-757-0715
〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区大字
加倉 8 番地 4
ドメティックロジスティクス
センター内

www.dometic.jp



製品保証書【配送・持ち込み修理】

品名・型番		ポータブル 2way コンプレッサー 冷凍庫 / 冷蔵庫 CFX3 75DZ	
※お客様	ご住所（〒 - ）		
	お名前		
	電話（ ） - 様		
※お買い上げ日		年 月 日	
保証期間		お買い上げ日から本体 1 年間 冷媒循環回路（圧縮機、凝縮器、冷却器、配管）3 年間	
※販売店	住所・店名		
	電話（ ） -		

※印欄の必要事項に記入のない場合は無効となります。

＜無償修理規定＞

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本規定に従い当社が無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、お買い上げの販売店、もしくはドメティックサービスセンターにご依頼のうえ、修理に際して本書を必ずご提示ください。
- ご贈答品等のアフターサービスについてはお買い上げ販売店、またはドメティックサービスセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 本書の提示がない場合
 - (ロ) 本書に必要事項の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
 - (ハ) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷
 - (ニ) お買い上げ後の輸送や移動、または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障や損傷
 - (ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障や損傷
 - (ヘ) 業務用での使用や船舶への搭載などで使用された場合の故障や損傷
 - (ト) 当社指定の有寿命部品や消耗品、または定期交換部品の自然消耗、摩耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合

- (チ) 屋外での常設設置、および取扱説明書に記載された以外の設置や使用での故障、損傷
 - (リ) 日本国外で使用された場合の故障や損傷
- 飲食物等の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはドメティックサービスセンターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※本機は民生用です。業務用途でのご使用はお控えください。